

# 全国市町村国際文化研修所（J I A M）研修報告書

令和 5年 5月 22日

府中市議会議長 様

会 派 名 創 生 会

議 員 名 広瀬 和彦

下記のとおり報告します。

日 時	令和 5年 5月 18日（木）～ 5月 19日（金）
視 察（ 研 修 ） 先	全国市町村国際文化研修所（JIAM）
視 察（ 研 修 ） 項 目	住民とのコミュニケーション
参 加 者	広瀬和彦（全国市町村議員 64名）
視 察（ 研 修 ） 内 容	<p>5月18日（木）：移動・開講オリエンテーション</p> <p><b>【講義】</b> 住民とのコミュニケーション 対話と受発信力の向上</p> <p>講師：京都芸術大学客員教授 社会構想大学院大学客員教授 本間 正人氏</p> <p>（講義内容）</p> <p>1. コミュニケーションの3つの機能</p> <p>(1) 理解を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・相手を理解する上で、固定観念や思い込みを捨て、相手を知り理解する。</li><li>・相手の立場に立った分かりやすい伝え方。</li></ul> <p>(2) 人間関係に影響を与える</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・フェイス・トゥ・フェイス・コミュニケーションが基本。</li><li>・人間関係に対する影響度は言語コミュニケーション（距離・視線・表情・動作・声）</li><li>・問題がある時のみのコミュニケーションではなく、問題のない時、意識的にとる。</li></ul> <p>(3) 信頼関係を築く3要素</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 聴く</li><li>② 言行一致</li><li>③ 守秘義務</li></ul>

**【演習】** ブラインドウォーク

- ・屋外で2名一組となり、視覚障害者の誘導を例に、安心安全、時間などを感じ、信頼関係を築く演習を行った。

**【意見交換会】** 17時～18時

メンバー：北海道安平町 箱崎 英輔議員  
静岡県西伊豆町 松田 貴宏議員  
京都府南丹市 山下 秋則議員  
兵庫県神河町 松岡 宣彦議員  
長崎県壱岐市 武原 由里子議員

事前に提出した各議員のアンケートを基に意見交換を行った。

5月19日（金）：講義及び演習

**【講義】** 前日の講義資料を使い講義

講師：本間 正人氏

(講義内容)

「コーチングの基本の考え方」

① 傾聴のスキル

- ・相手から可能性を引き出す方法として、相手に合わせて引き出す方法を考える。
- ・相手目線に立って、相手が答えやすい質問をする。
- ・固定観念で人を知るのはダメ。

② 問題解決の方法「GROWモデル」

Goal 目標の明確化（大目標から中小目標）

Reality 現実把握

Resource 資源の発見（人、物、金、情報、時間）

Options 選択肢の創造

Will 目標達成の意志

**【演習】**

「ヒーローインタビュー」と「GROWモデル」の手法で、二人一組で相手が抱え込んでいる問題を引き出す質問の演習を行った。

**【所感】**

今回の研修で学んだことは、住民とのコミュニケーションとしての対話手法として、まず、相手を知ること。相手が何を問題にしているのか解決の目標として何処を目指すのか、その方法として何が考えられるのかを3つ引き出す。それを基に、協力者がいるのか、その方法を実施するための資源は何か。目指す目標への計画とやる気など、問題解決の方法「GROWモデル」が重要と感じた。

また、コーチングの考え方を基本として、今後の住民との対話や問題解決を実践していきたい。

以上